Japanese Network for Prevention Spartinas spreading 日本スパルティナ防除ネットワーク

2011年4月、愛知県三河港の干潟に生えている謎の植物がスパルティナ・アルテルニフロラ (Spartina alterniflora)という北アメリカの植物と判明した。この植物は大きさが3m近くにもなるため、もともと大型の 植物がほとんど生えない日本の干潟では、生物の住む環境(=生態系)を大きく変えてしまう可能性がある。

## ヒガタアシってどんな植物?

ヒガタアシは干潟に生える、ヨシやススキに似た植物である。 イネ科の植物であるため、はっきりとした特徴が少ない。

穂は数本が束になり 1本のように見える



### <ヒガタアシの特徴>

- ・葉はヨシより細くて長く、上部の葉は裏返って裏面が空側を向く
- ・ヨシよりもやや緑色が薄く、プラスチックのように鈍い光沢がある
- ・円形を保ちながら拡大する
- ・ 穂は数本が東になって1本のように見える

芽が伸長して 間もないヒガタアシ



円形に拡大し黄緑色 (奥の濃い緑はヨシ)



高さ3m近くにまで成長 (開花期の10月頃)



# すごい露殖力「

ヒガタアシはとても繁殖力が旺盛。1年間で数メートル範囲が広がる。

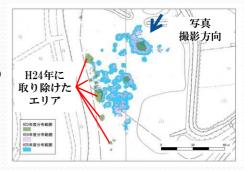
平成23年度(24年2月)→ 平成24年度(24年10月)→ 平成24年度 防除活動 → 平成25年度(25年10月)











# 駆除活動に企業・中学生も動《』

ヒガタアシの駆除は愛知県を中心に豊橋市・田 原市・環境省が主体となって実施してきた。また、 明海地区の企業ボランティアや地元中学生も参加 して駆除活動が行われ、かなりの量のヒガタアシ が駆除された。

地元中学生 による駆除活動



ヒガタアシの発見情報・問い合わせ Email: ipnet.prev.spartina@gmail.com URL: http://jpnet-prev-spartina.jimdo.com/ 日本スパルティナ防除ネットワーク事務局 (花井)

企業ボランティア による駆除活動





# ヒガタアシの国内完全駆除に向けて

日本スパルティナ防除ネットワークでは、 ホームページを作成して情報を発信したり、観察 会や企画集会等を開催して、多くの人に干潟の 大切さ、ヒガタアシの特徴を伝えるなどの活 動をしている。

企画集会の様子



出典「平成23年度愛知県の干潟等沿岸部外来種侵入状況調査報告書」(中部地方環境事務所, 2012年) 「平成25年度愛知県の干潟等沿岸部侵入外来種対策調査報告書」(中部地方環境事務所,2014年) 「平成26年度ヒガタアシ防除手法検討業務報告書」(愛知県,2015年) 豊橋市ホームページ

等より引用一部改編

# 早期発見のための

# 特定外来生物ヒガタアシ(干潟章・干潟悪し)と在来種ヨシの識別点



# 生育状態

侵入初期には干潟に円形のコロニーを作る。 ヨシより海側に生育できます。冬も枯れずに緑 色のままです。ヨシと混在もする。 北アメリカ原産のヒガタアシSpartina alterniflora は、干潟に分布するイネ科の植物です。ヨーロッパ、オーストラリア、中国などに移入定着し、生態系や産業に大きな影響を与えています。本種は2008年に国内で初めて確認され、現在愛知県と熊本県で定着が確認されています。他地域にも侵入の可能性があり、在来種のヨシPhragmites australisとは生育環境も形態も類似しているので、識別点を紹介します。非常に繁殖力が強いため、防除にはできるだけ早く発見し、処置をすることが肝心です。





# 草体の特徴

ヒガタアシは茎が太く、円錐形状。 葉は根元から伸びる。全体が塩の ために白っぽく見えることがある。 高さ3m程に成長する。

ヨシは茎が細く、円柱状。葉は横に広がる。干潟では高さ3m程に成長する。

茎の内部が中空なのは共通。



ヒガタアショシ

## 葉の特徴

ヒガタアシの葉は厚く、幅は狭い。ヨシの葉は薄くて、幅は広い。



花の特徴

ヒガタアシ

ヨシ



ヒガタアシ



ヨシ

ヒガタアシの花は10本以上の長さ5~15cmの穂が、ゆるくまとまり、1本の穂に見える。9月後半から10月後半に開花する。ヨシの花は20~50cmの穂を多数生じ、「はたき」のようにばらけ、実には白毛がある。8~10月に開花する。

「日本スパルティナ防除ネットワーク」HPにも情報があります http://jpnet-prev-spartina.jimdo.com/